

## 集会宣言

14年前の今日、東日本大震災によって発生した地震や津波が福島第一原発を襲い、原子炉3基同時メルトダウンという史上最悪の過酷事故を引き起こしました。

この福島第一原発事故によって東日本全域の広範な国土が放射性物質に汚染され、事故から14年が経過した今日でも2万5000名以上の市民が避難生活を余儀なくされています。自殺者を含む震災関連死は3800名を超え、小児甲状腺がん（疑い含む）と診断された子どもも370名に上っています。廃炉作業も遅々として進んでおらず、原子炉建屋への地下水の流入すら制御できないまま、今も剥き出しのままの放射性デブリに汚染された汚染水が生成され、海洋放出されています。

近年、我が国は、ほぼ毎年のように巨大地震に見舞われており、昨年の日には停止中の志賀原発が能登半島地震に見舞われ、日本中を震撼させました。震源地はかつて原発が計画されていた珠洲市であり、このような薄氷の上に今の日本は立っています。

本年2月18日、日本政府は、第7次エネルギー基本計画を閣議決定し、福島第一原発事故以降一貫して掲げてきた「原発依存度を可能な限り低減する」との記載を削除するとともに、原発を再稼働、新增設するなど「最大限活用」する方針を示しました。

まるで福島を忘れたかのような政府の原発回帰を私たちは絶対に許すことはできません。

原発事故を、再び起こしてはなりません。私たちのちからで、原発のない再エネに拠って立つ新しい社会をつくりましょう。放射能におびえることなく平和で安心して暮らせる社会や未来を、共につくっていきましょう。

- ▶ 私たちは、原発再稼働、老朽原発稼働延長、原発新增設などの原発回帰政策に反対し、これ以上核のゴミを増やさないために、すべての原発の稼働停止と廃炉を求めます。
- ▶ 私たちは、国や東電に対して福島第一原発事故被害への完全なる救済、賠償と、生活再建や環境回復、健康被害対策などに責任を果たすことを求めます。
- ▶ 私たちは、核燃料サイクル政策とプルサーマル発電の中止を求めます。
- ▶ 私たちは、福島原発放射能汚染水の海洋放出の中止を求めます。
- ▶ 私たちは、九州電力をはじめとした電力会社による太陽光や風力などの再エネ出力抑制に反対し、それらを優先的に送電することを求めます。
- ▶ 私たちは、「賠償負担金」と「廃炉円滑化負担金」を託送料金（送電線の使用料）に上乗せしないことを求めます。
- ▶ 私たちは、放射能もCO2も出さない再エネに拠って立つ新しい社会の実現を求めます。

2025年3月11日

原発ゼロ！3.11 福岡集会 参加者一同